

夜明けの星

団 NEWS No. 262

日本ボーイスカウト 川崎第46団
広報委員会発行

団結しよう！輝け46団



BVS隊夏キャンプ(2013年8月9日～11日)

ビーバー隊は、8月9日から2泊3日で、道志川沿いのこのまさわキャンプ場で、カブ隊との合同夏キャンプを行いました。
バスにゆられて約2時間。気候は、もう夏全開。



開所式のあと、早速水着に着替えて川遊び。おたまじゃくしなど、川の生き物をみんなで探しました。昼食後はニジマスのつかみどり。去年は水深がふかく、なかなか捕まえられませんでした。今回は浅め。しかし、魚のイキがよくて、ことしも難しいかと思いましたが、みんな上から、押さえつけるなどして、短時間で放流12匹をGETすることが出来ました。

その後は水鉄砲で、大はしゃぎ。あっという間に時間がたちました。たっぷりあそんだあとは、自在ワイヤーを使ってチーフどめづくり。夕食は、BBQといっしょに、さばくのを手伝ったニジマスをおいしくいただきました。

翌日は、津久井城の跡地にいる武士のおぼけに会うという設定で津久井湖城山公園をハイキング。指令書に従い大杉や、宝が池で宝箱を次々とみつけ、山頂ではカギを発見し、宝物を手に入れることに無事成功。あまりの暑さに二人、



山頂にはいけませんでしたが、キャンプ場に戻る途中、いやしの湯に立ち寄り、みんな元気回復。



夜のキャンプファイアーも「さんぽ」を上手に歌うことが出来、大いに盛り上がりました。

最終日の朝食は青谷リーダー渾身手作りのペットボトルを利用した流しそうめん。

またたく間にたいらげました。

帰りのバスでは、恐怖の雷に驚かされましたが、カブ隊の皆さんや、ご父兄のご協力のおかげで、無事おえることができました。ありがとうございました。

C S隊夏キャンプ(2013年8月9日～11日)

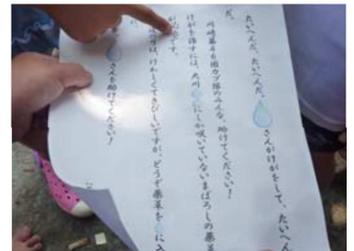
野外で活動する夏キャンプは、一年を通して今まで頑張ってきたことを発揮する場であり活動の集大成です。

8月9日～11日、旧津久井郡にある「このまさわキャンプ場」で2泊3日の夏キャンプを実施しました。キャンプ場に到着し、隊長から組長に指示書(ジロップから預かった手紙)が渡されました。スカウトたちは、これから山あり川ありのこの地で様々な厳しいミッションに挑戦し、成し遂げひとまわりもふたまわりも成長することでしょう。

【キャンプ1日目】



ジロップの手紙は、所々涙でにじんでいて読めません。



そうです。キャンプ初日は、手紙を解読するため、隠され

文字を手に入れるミッションに挑みます。

隠された文字を手に入れるため橋にいるうさぎ(ヤト=石原副長)からヒントをもらいます。「リス君を助けて！」スカウト達は、川で泣いているリス君兄弟(原田副長、若島副長)を見つけました。「僕たちのお昼ご飯(どんぐりとクルミ)を川に落としちゃった。エヘン、エヘン。拾ってくれたら手紙の文字を一文字教えてあげるよ」。



1組は赤いどんぐり、2組は黄色いクルミを拾います。両組共短時間で全ての木の実を拾えましたね。

お父さんリスとお母さんリスが対岸に取り残されている・・・落とさず早く救ってくれるのは何組だ？

「お母さん溺れちゃったかな・・・」

大丈夫、大丈夫。無事親リスを救い出すことに成功しました。お兄さんリス(原田副長)もニッコリです。

川遊びの時間です。

スカウト達の水鉄砲に狙われ、リーダーたちも川にドボン！スカウトたちは、大はしゃぎです。



さあ、ミッション再開だ！濡れたリーダーのTシャツを得意のロープ結びで干して下さい。「えっ・・・」。



ロープとロープは本結び、木には、巻結びで巻きつけ、たるみは縮め結びで調整しましょう。「あっ！ロープたるんでる・・・リーダーのTシャツ落ちちゃうよう～」。

川遊びを終え、作業着に着替えます。まだまだ遊ぶぞ～。



←「暗夜行路」＝目隠してロープを辿りながら、ぶら下がっている物を記憶します。組ごとに作戦を練り、団結し、「ピンポン投げ」、「マクドナルドゲーム」など沢山のゲームで競い合いました。

夕食は、バーベキューです。明日は、なにやら急な山に登るらしいぞ・・・「残さず沢山食べて、スタミナつけないとバテちゃうぞ！」。



食後、組ごとに反省会、組長・次長会議を行い消灯。

今日より、明日、悪かったことは良くなるように、良かったことは、もっと良くなるように。「期待しています。おやすみなさい」。

【キャンプ2日目】

昨日、解読した手紙には、怪我した金太郎を助けるため、大川原山山頂にしか生息しない薬草を取ってきてほしいと書かれていました。部屋の点検・朝礼・朝食を済ませ、

昼食（おにぎり＝カブ弁）を準備し、目の前にそびえ立つ大川原山の山頂を目指します。



「薬草を手に入れるぞ～！」。ジロツポ（しか）の足跡を追跡しながら、いざ山頂へ。

薬草を発見！得意のパチンコで「薬草」をGETせよ。



見事、薬草をGET。これで金太郎さんを治療することができますね。途中しかの角も発見。



山頂でカブ弁を食べ下山です。途中、猛獣たちに遭遇！歩きながら拾い集めた松ぼっくりで退治します。「薬草を奪われるな～」・・・

無事ミッションをクリアしたスカウト達は、薬草を隊長に渡し、金太郎が元気になったことを聞かされました。「みんなよく頑張ったね。」(隊長)。その夜、金太郎(隊長???)のお礼で始まり、ゲーム・ダンス・スタンプと盛大にキャンプファイヤーがとり行われました。

最終日もぎりぎりまで自然を楽しみました。

BS隊夏キャンプ (2013年8月11日～16日)

BS隊では8月11日から8月16日まで山梨県笛吹市芦川にあるすずらん荘第3キャンプ場で夏のキャンプを行いました。参加スカウトが14名、リーダー5名で、久保井団委員長、荒川副団委員長にも来て頂きました。天候にも恵まれ、雨は降ったものの活動にはほとんど影響がありませんでした。12日は川崎では激しい雷雨だったようですが、キャンプサイトでは雷鳴のみで、雨は降りませんでした。

すずらん第3キャンプ場は河口湖の北にある御坂山地の山を1つ越えたところにある静かなキャンプ場で、河口湖からバスに乗り、若彦トンネルという最近できた長いトンネルを抜けた先にあります。標高は1300m以上あり、今年の暑い夏でも比較的涼しく過ごすことができました。このキャンプ場はボーイスカウトの利用が多く、川崎市内の他の団や東京の団が夏キャンプに利用しているとの事でした。46団の後も杉並の団がキャンプに来ていました。

今回のキャンプではスカウトに「次の行動に移る時は、作業途中でも片付けること」を生活の目標にしました。BS隊でのキャンプは「楽しい活動」と(少し)厳しい「キャンプ生活のけじめ」の2つの面があります。今回のキャンプでは整理整頓や時間を守るといった生活面で進歩があったと思っています。後半になるほど改善される部分が多くなり、日数が多めのキャンプの効果を感じさせられました。

さて、初日の11日は早朝から荒川副団委員長の車にキャンプ資材を乗せ、現地まで運んで頂きました(この場を借りて改めてお礼申し上げます)。スカウト達は電車で河口湖まで移動し、バスに乗り換えて最寄りのバス停まで移動し、そこから約4km弱の道のりをおよそ1時間30分かけてキャンプ場まで登ってきました。開所式を終えて、早速キャンプサイトの設営に入り、食堂フライヤテントを立て、夕方までには食事が作れるようになっていました。ジャンボリーから帰ってきたばかりのスカウトも多く、この日は設営と食事だけといった感じでした。

12日はテントやシュラフを乾燥させるときに使えるロープの張り方を使ったゲームで楽しみながらスカウト技能を確認しました。木々の間にこの方法でロープを縦横無尽にはり、このロープを蜘蛛の巣に見立て、なるべく少ない回数でこの「蜘蛛の巣」を超えるというゲームです。優勝したスカウトは1回しか触れずにくぐり向きました(写真が無くてゴメンナサイ)。また、スカウトの計画した全スカウト勝ち抜き火起こしトーナメントではスカウト自身がルールを決めてトーナメントを行うというもので、その1回戦を行いました。リーダーの方もドラム缶風呂の準備をして「46の湯」を立ち上げました。おかげさまでスカウト達は連日風呂に入ることができました。



ドラム缶風呂をブルーシートで覆った46の湯

13日は保存食を作るということで、北村副長が下味の準備をして下さった肉類を使った燻製作り挑戦しました。鉄筋で肉をつるすフレームを組み立て、スモークをためる蓋いを新聞紙とガムテープで慎重に作り、肉に針金でフックを付けて準備完了。後は炭に火をおこして鉄筋のフレームに肉をつるし、蓋いをかぶせて火を通していきます。最後に煙(香り)基になるチップを火の上にはばらまいて蓋いをかぶせて待ちます。トータルで3時間程度でおいしい燻製が出来上がりました。



鉄筋に肉をつるすスカウト達



たくさん吊りました



新聞紙で作った蓋をかぶせる



自班の勝利を信じて余裕の高橋班長



スモークのチップをかける



まだまだ余裕の江上班長



焼きあがった燻製



焼き切れそう！
デッドヒートを演じるスカウト達

午後は火起こしトーナメントをよりスリリングな班対抗火起こしゲームに変更しました。麻ひもでつった水風船をぶら下げ、火を起こしてひもを焼き切ると水風船が落ちるしくみになっています。相手の班の班長には雨具を付けて水風船の下に座ってもらい、速くひもを焼き切った班が相手の班の班長の頭上に水風船を落とせるというもので、とても盛り上がりました。

最初はタイガー班が優勢でしたがウルフ班が逆転。最後はデッドヒートを演じましたがウルフ班が逃げ切りました。もともと、落ちた水風船はヘルメットに当たったものの（予想通り）割れませんでした。

この日は昼過ぎには久保井団委員長が甘いぶどうを手土産（ごちそうさまでした！）にBSの夏キャンプに来て頂き、1日予定を延ばして2泊して頂きました。（この場を借りてお礼申し上げます）。

夜はリーダー主催の肝試し。キャンプ場の横にあるすずらん畑の遊歩道に沿って奥まで歩き、白いお地藏さん(?)から「すずらんの玉」をもらってくるというもの。「すずらんの玉」として利休まんじゅうを使ったので、「すずらんの玉を取ってきて利休の魂を救う」という設定で二人1組で暗い夜道を歩いてもらいました。



白いお地藏さん
肩から掛けた風呂敷に「すずらんの玉」が…

14日は天気の良いければ間近に雄大な富士山が見えるという山梨百名山の一つである黒岳(1792m)に登りました。班ごとに地図を使って地形を読みながら(道の方角、尾根道とか、急な登りとか、比較的なだらかとか、小ピークを超えとか)黒岳山頂を目指しました。

地図を読みながら進むスカウト達



黒岳山頂



残念ながら富士山は雲に隠れて見えませんでしたが、お昼におにぎりの他に昨日作った燻製をおいしく頂きました。途中でスカウト1名が体調が悪くなり下山するハプニングもありましたが、経過は順調で大事には至りませんでした。



富士山は見えませんでした

14日の夕食は料理コンテスト。両方の班とも野菜と魚をみそ仕立てで仕上げる「チャンチャン焼き」に挑戦しました。1人前を味見用に作ってもらい、リーダーで食べ比べをしました。いろいろ工夫した点をアピールしたウルフ班はとてもよかったのですが、味はタイガー班かなということになりました。



班サイトの様子

15日の朝礼では昨日の夜に1級進級面接を終了した内田スカウトに1級のスカウトバッジを授与することができました。



内田スカウト進級おめでとう！

15日の活動は今回の夏のキャンプのハイライトとなる芦川の沢登りです。この日の朝に到着した荒川副団委員長のご指導のもと、バス停近くまで山を下った地点から沢登りを開始しました。



出発前の記念撮影

今回の沢登りでは、靴ではなく、地下足袋に履き替え、その上にわらじをはいて、頭にはヘルメットをかぶって臨みました。



地下足袋にわらじをはいて…

人がほとんど入れない沢伝いに時にはながれの中を時には岩を超えて芦川をキャンプ場に向かって遡って行きました。1時間半ほど歩くと大きな堰があり、ここでお昼ご飯。ここから先には行けないので林道に這い上がって探検は終了となりました。



岩を超え



流れを超え

小休止の後、出発だ





ちやっかり2回写っているスカウトが



スカウト達のスタンツ

今回は特に荒川副団委員長が今まで自分の人生をどのように切り開いてきたかというお話をキャンプの火を囲みながら聞くという夜話の時間を持たたのもスカウトには印象深かったかと思います。



堰に到着



夜話をして頂いた荒川副団委員長

最終日の16日は点検朝礼後に徹営に入りました。今回はバスに乗り遅れると2時間以上バス停で待つことになるためか、時間どおりに徹営を済ませました。閉所式では徹営までのトータルでの評価を行い、僅差でウルフ班を優秀班として表彰しました。また、最優秀スカウトには一番成長したスカウトとして管スカウトが選ばれました。



よじ登って林道へ

午後は夜のキャンプファイヤのために、役割分担とそれぞれの役割の準備にかかりました。司会進行、ファイヤの薪組・火の管理、ゲームやソングの進行役、安全管理担当などそれぞれの役割についてスカウトが運営したファイヤになりました。



一番成長した管スカウトが最優秀スカウトに

キャンプサイトを出発したスカウト達はまたバス停まで下って行き、バスと電車を乗り継いで団ハウスまで予定通りの時刻に戻ってきました。キャンプの資材の片づけをして団ハウスで解散となりました。比較的長いキャンプでしたが、スカウト達は明るい表情で家路につきました。

最後にBS隊のリーダーの皆様の夏のキャンプに対する奉仕に深く感謝いたします。



帰りのバス停にて

第16回日本ジャンボリー報告

2013年7月31日から8月9日まで9日間にわたって、山口県きらら浜で第16回日本ジャンボリー(16NJ)が開催されました。今回、16NJに参加された三須隊長と伊比さんからの報告です。

【伊比さんからの報告】

16NJを終えて

7月30日夕方、中原平和記念公園を出発し、翌日11時、神奈川第一隊を乗せたバスは山口きらら浜の地に到着しました。

まだテントもまばらに張られた、だだっ広いその地はしばらくすると各参加隊の思い思いのゲートが建てられ、通りが姿を現し、立派なキャンプサイトと形作られて行きました。そして我々神奈川第一隊のサイトは角地の一等地に身を構えることとなり、この地で9日間に及ぶジャンボリー生活が幕を開けました。

さまざまなプログラムがある中、前半のメインは場外プログラムである「広島ピースプログラム」への参加です。

6:20に出発するバスで2時間ほど揺られ広島へ行ってきました。

原爆資料館の見学やボランティアの方々による朗読など本当に貴重な追体験となりました。広島初体験のスカウトがほとんどであり、資料館で焼けられた遺品の数々を直に目にし、原爆の恐怖・戦争の惨たらしさを深く心に刻んだことと思います。その後の「ふりかえり学習」においても、感じたこと、平和について大切だと思うことなどを各々自分なりの言葉で綴っていました。



そして、8月4日、ジャンボリーの最大イベント、アリーナショー開催です。

2時間前からサブキャンプごとに集合を開始していると、突然のゲリラ豪雨に襲われました。あれよあれよと雨が大量になり一気にその地をたたきつけます。ほんとに一瞬の間に多くのテントサイトが水没しました。

当サイトも浸水したテントもあり、水たまりとなったサイトを丸となってバケツリレーにより排水作業を開始。しかし、このような劣悪な状況は何故か血が騒ぐもの、初めは当惑していたスカウトもここぞとばかりに力を発揮し、妙に楽しそうに作業に力を注いでいました。そんなスカウトの頼もしさを垣間見ることができ、もしかして初めて団結感を味わえる出来事になったかもしれません。ジャンボリーの醍醐味ここにあり！といったところでしょうか。

その後、約一時間遅れで開催されたアリーナショーは、さらなる大盛り上がり！

皇太子殿下、安倍首相、文部科学大臣、宇宙飛行士・野口壮一さんのスピーチに大喝采、各地区の出し物やご当地アイドルの登場に至っては、総立ちで腕を振りまくり、跳びまくりの大興奮。班旗をひるがえしながら他の隊のスカウトと共に大いに盛り上がってきました！

前半戦の集大成ともいえるこのイベントは後半戦を乗り切る糧となろうかと感じました。(が、実際はこの翌日はそうとう疲れきっていたようです・・)

この日一日の出来事は、きっとスカウトの心にも一番印象に残る出来事になったことと思います。もちろん、この日を最後に山口の地を後にした私にも一番の思い出となりました！

イベントの他のお楽しみは「かき氷」でした。県連より毎日氷が届き、毎日かき氷が食べられる環境を整えてあったのです。マーキーの軒下にかき氷の暖簾も下げ気分も大いに盛り上げて。暑い中で食べるかき氷や持ち込んだドラ

アイスで冷凍状態の冷え冷えチューペットはスカウトやリーダー達を生き返らせてきました！

後半戦は三須さんが持ち込んで作って下さった、ところてんやフルーツポンチなどさらなるお楽しみがありましたね。

というわけで、前半のみ参加の伊比は、後半参加の三須隊長、43団の岩淵副長にタスキを渡し川崎に戻ってきました。

ジャンボリーへの参加自体、私にはハードルが高かったわけですが、行ってみなければわからない感動がありました。貴重な経験がたくさん出来たと思います！

以上、ジャンボリー前半戦の報告とさせていただきます。



【三須隊長からの報告】

16NJの感想について

私は、伊比さんと藤巻さんとの交代で後半（8月3日から9日まで）の参加となりました。

8月3日、荷物を乗せていたキャリアがあまりにも重かったのか現地につく前に壊れ、前途多難な出発となってしまいました。（現地より頼まれた氷シロップやフルーツの缶詰など重い物を積んでいたからかなあ）何とか新山口で台車を購入して、荷物を積み替え現地入りしました。

8月4日は、ジャンボリー3大イベントの一つ、アリーナショーの日でした。皇太子さまや安倍総理などのお偉方さんがジャンボリー会場入り、それを祝福？するかのゲリラ豪雨！！

当然ながら神奈川第1隊のサイトも水浸しとなり、テント2張が浸水（少し染みこんだ程度ですが）しました。私は

隊長と一緒にテントの張などを修復しているところにゲリラ豪雨！！そのため上から下までずぶ濡れ（長靴の中まで）となってしまいました。

多少遅れながらも、アリーナショーは開催されましたが、隊長と私はサイトに残り、ゲリラ豪雨の爪痕の復旧作業を行っていました。

アリーナショーから帰ってきたスカウトたちの顔を見るとものすごく楽しかったようです。（行きたかったなあ）夜は、同じ川崎の隊、神奈川第15隊との交流会を行いました。スタンツを出し合って楽しい時間を過ごしました。

8月5日、6日の昼間、スカウトたちは場内プログラムに参加をして、楽しんでいました。

5日の夜には、神奈川第2隊とブラジル隊との交流会、6日の昼には、岩手第1隊とスコットランド隊との交流会、スカウトたちの希望でもあった海外隊との交流会でしたが、スカウトたちの大半は固まっていた。私自身も英語は全くダメなので、スカウトたちと同様でしたが…。場内プログラムの合間でもスカウトたちは他隊との交流をしていたようです。（あそこの隊のあの子がかわいいらしいから行ってみようなんて声も聞こえました。若いっていいですね）

8月7日、ジャンボリー最後のイベント、閉会式です。このジャンボリーは第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリーも兼ねていたため、次回2017年に行われるモンゴルに引継ぐイベントもありました。またこの場所で23WSJのテーマソングのお披露目、プロモーションビデオの上映などその他もろもろ盛りだくさんの閉会式でした。スカウトたちもジャンプをしたりして大はしゃぎでした。最後は花火で締めくくりとなりました。ジャンボリーの最後はやっぱり花火ですね。これでジャンボリーが終わってしまうのかと寂しさも湧いてきました。

8月8日、朝から徹営作業、午前中のうちのコンテナへの荷物の積み込みも完了し、昼にはジャンボリー会場を後に川崎へ向けて出発しました。帰路の途中では、食堂での食事やスーパー銭湯での入浴、現実のありがたみを感じ、8月9日の早朝に中原の平和公園に到着しました。朝は早かったのにたくさんの方のお出迎えがありました。感謝の限りです。

全体（後半）の感想ですが、行くまでは7日間は長いだろうなあって思っていたのですが、終わってみると短く感じました。またスカウトたちも大きなケガもなく帰って来たのは、原隊での経験、リーダーからの指導があったからだと思っています。

自分がスカウトの時に経験した31年前のジャンボリーとはずいぶん様変わりをしていました。このことも機会があればお話したいと思っています。

菊賞受賞

川崎第46団ボーイ隊の高橋スカウトと伊比スカウトが菊章を受章しました。



高橋スカウト 菊賞伝達式(6月23日)

【高橋スカウトのコメント】

～入隊当初～

入隊当初、菊章はおろかBS隊でまともに活動できるかどうか不安でした。でも周りのサポートのおかげで順調に進級することができ、菊章を取得することができました。サポートしてくれた皆さん、ありがとうございました。次のVS隊では富士章を取得できるように頑張りたいです。



伊比スカウト 菊賞伝達式(7月20日)

【伊比スカウトのコメント】

～菊章を受賞して～

僕が名誉ある菊章をとることができたのは、BS隊のリーダーたちが手厚く指導してくれたおかげだと思います。僕がBS隊に入隊した時は、体が弱く、ちゃんとキャンプ等乗り越えることができるのかと、色々不安がありました。ですが、どれも怪我もなく乗り越えることができました。そして、4年目の今年、8月の日本ジャンボリーまでに菊章をとろうと積極的に隊長がターゲットバッジの確認や、菊面接の調整をして下さいました。もし、何もフォローがなければ、菊章はとれなかったと思います。リーダーたちに感謝感謝です！VS隊に上進して色々大変になるけど、できる所までを狙って頑張っていきたいです。

世界ジャンボリー協賛金 御礼

育成会々員各位

賛助会々員各位

OBS 各位

日本ボーイスカウト川崎第46団

育成会々長 田中 恒平

団委員長 久保井 基隆

「第23回世界ジャンボリーをみんなで成功させよう協賛金」のお礼

三指

日頃は、ボーイスカウト活動に多大なる、御理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、表題の件、ボーイスカウト日本連盟より依頼の、2016年山口県で開催される「第23回世界ジャンボリーを成功させよう協賛」に賛同を頂き育成会の皆さまに、御協賛をお願い致しましたが、その結果、総額111,900円と過分な御厚意を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様よりご寄付いただきました御厚意は、ボーイスカウト川崎地区協議会を通じて日本連盟へと寄付致しました事を、ご報告させていただきます。

これより盛夏の大変暑い時期を迎えます、育成会、団委員を代表して、おからだに十分ご注意の上、皆様方のご活躍を、お祈り申し上げます。

尚 ご寄付いただきました金額の一部を、「第23回世界ジャンボリー」の当団スカウトの派遣時の一部費用として、積み立てと致しますので、ご了承頂きます様お願い申し上げます。

又 協賛頂きました皆様のお名前も併せてご報告させていただきます。

弥栄

敬称略

所属	お名前	所属	お名前
賛助会	後藤輝一	CS 隊	津嶋 直文
賛助会	高橋和夫	CS 隊	松窪 克郎
賛助会	松村 京子	BS 隊	高橋 大樹
賛助会	荒川 秦一	BS 隊	伊比 和彦
OBS	松村 徹	BS 隊	笠原 智夫
BVS 隊	宮崎栄二	BS 隊	江口 由香
CS 隊	岩崎 雄人	BS 隊	風呂田 秀昭
CS 隊	金井 健	RS 隊	有福 一昭
CS 隊	岩田 雅之	RS 隊	多賀 譲治
CS 隊	片岡 達雄	RS 隊	田中 恒平
CS 隊	伊藤 智昭	RS 隊	三浦 孝廣
CS 隊	若島 教義	RS 隊	田仲 貴一
CS 隊	仲井 秀夫	RS 隊	横川 信彦

各隊活動報告 (2013年6月～8月)

BS隊

- 6/16 訓練キャンプ計画書作成 (団ハウス)
スカウト4名 リーダー5名
- 6/22～23 訓練キャンプ (多摩川河原(旧48集会場))
スカウト11名 リーダー6名
- 7/14 キャンプスキル集会(ロープワーク)(第4公園)
スカウト5名 リーダー4名
- 7/20 伊比スカウト菊上進(臨時集会)(第4公園)
スカウト10名 リーダー6名
- 7/28 CS隊合同集会(救急法)(創作センター)
スカウト7名 リーダー3名
- 8/4 夏キャンプ準備(団ハウス)
スカウト3名 リーダー5名
- 8/10 夏キャンプ準備(買い物)(団ハウス)
スカウト13名 リーダー4名
- 8/11～16 夏キャンプ(すずらん荘第3キャンプ場)
スカウト14名 リーダー5名
- 8/25 次年度準備集会(三田子文)
スカウト8名 リーダー3名

CS隊

- 6/16 組集会(団ハウス・チャレンジブック履修)
スカウト15名 リーダー3名 DL4名 父母妹弟10名
- 6/23 隊集会(多摩川河川敷・BS合同バーガー作)
スカウト16名 リーダー4名 父母妹弟19名 見学者1名
- 6/29 夏キャンプ下見(このまさわキャンプ場)
リーダー4名
- 7/7 組集会(団ハウス・セミの一生)
スカウト12名 DL3名 父母妹弟8名
- 7/21 隊集会(生田緑地柵形山広場・セミの羽化観察)
スカウト17名 リーダー5名 DL3名 父母妹弟17名 見学者1名
- 7/21 父母会(生田緑地柵形山広場)
リーダー2名 父母妹弟17名
- 7/28 BS・CS合同集会(創作センター・(救急法))
スカウト10名 リーダー2名 DL2名
- 8/4 組集会(団ハウス・夏キャンプ準備)
スカウト11名 DL2名 父母妹弟13名 見学者1名
- 8/9-11 夏キャンプ(このまさわキャンプ場)
スカウト11名 リーダー6名 DL2名 父母妹弟7名
- 8/24-25 くま集会(黒川青少年野外活動センター・月の輪キャンプ)
スカウト6名 リーダー5名 団委員長・BS指導者他5名
- 8/25 隊集会(黒川青少年野外活動センター・お別れ隊集会)
スカウト14名 リーダー5名 父母妹弟18名

BVS隊

- 6/9 ビーバーまつり準備会(団ハウス)
スカウト2名
リーダー3名 父母2名
- 6/23 ホテル観賞・ハイキング(生田緑地)
スカウト1名 見学者1名
リーダー3名 父母2名
- 6/30 ビーバーまつり(土橋小学校)
スカウト2名 見学者2名
リーダー4名 父母4名
- 7/15 防災訓練(立川防災館)
スカウト2名 見学者1名
リーダー4名 父母3名
- 7/28 夏キャンプ準備会(団ハウス)
スカウト2名
リーダー3名 父母2名
- 8/9～8/11 夏キャンプ・CS隊合同
(このまさわキャンプ場)
スカウト3名 リーダー2名
父母2名
- 8/25 バイバイビーバー
(団ハウス・三田第四公園)
スカウト2名 見学者4名
リーダー3名 父母6名

広報委員

岩田 雅之
戸叶 孝司
荒川 泰一
神岡 美徳
木幡 和美
土田 晋也

編集後記

今回は、夏キャンプと16NJなど盛りだくさんの内容となりました。

写真が多かったため、当初、容量が60MB以上になってしまいました。写真閲覧サイトを活用して、何とか5MB以下に落とし、送信できるようになりました。

次号(夜明けの星第263号)は、入隊・上進式模様です。
(岩田)

川崎46団のHP

<http://www.bsk46.com/>